

特別養護老人ホームアソカ園

事業計画

I 最重要項目

1、22年度 運営のコンセプト

(最重要・中心となるテーマ)

① 介護力向上による個別ケアの充実

……その人らしさを支える

できる限り、その人の保有能力を活かしその人らしい生活を支援する。その人らしさとは、人らしく尊厳ある生活(排泄・水分・食事・運動)、その人の思いを実現する生活(レクリエーション・散歩・その人の望む個別ケア等)

・ 介護力向上研修・介護の有段者(専門性)を目指す取り組み。

なぜ、という気づきを得る。その根拠を知り根拠のあるケアができることがプロ。それには、まず、知ること。介護の専門家として恥じない知識を身につけるべく努力する。なぜ、取り組む必要があるのか、一人一人が取り組みの必要性について理解をさらに深め、組織全体として取り組む職場風土を醸成する。ご利用者の笑顔を作れるのは真の介護の専門家。

② オペレーションシステム導入による効果的なケア運営を図る

オペレーションシステムとは、必要最低人員による運営においてもケアの質を落とさず職員の士気を高める取り組みである。

応用は基本があつてできる。臨機応変の対応もマニュアルがあつて、初めてできる。まず、基本を学び、基本の業務を明らかにして効果的なケアを行える土壌を作ることを目指す。

オペレーションにより、各業務、それぞれの役割と責任を明確にすることで、無駄を省き、質を省かない取り組みが可能となる。

記録の重要性

アセスメント・計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルを回すために記録は不可欠。記録のあり方・書き方についても同時に改善を進める。

2、その為に取り組むこと……

経営の効率化、黒字体質への仕組み・基礎。

① 収入から見た人件費を割り出し、配置人数・職種を決める

介護職何名、看護職何名、その他職種何名等。

② その人数で如何に効果的に質を維持したケアを行うか考える

③ その二つがオペレーションシステムの確立

そのシステムに従い、勤務表作成、役割分担を書

き入れる。

そして記録の方法と内容についての検討。将来は電子化も含めて検討。

*評価レベルまでゴール(目標)を示し、具体的に実施・評価する(竹内式)

II 22年度人材の育成コンセプト

1、管理者研修について

① 22年度コンセプト 実践する力

20年度 まず、知ることから始める

21年度 知ったことを伝える力を養う

22年度 伝えたことを実践する力を養う

管理者研修 時間 一八〇〇～一九三〇 (三〇分延長)

内容・各管理者講義 三〇分

グループワーク(事例検討) 三〇分

施設長講義・まとめ 三〇分

2、人材育成のコンセプト スタッフの実践する力を養う

20年度 理念・基本姿勢・考え方を学ぶ

21年度 私達の仕事再発見を通して虐待防止・セーフケアについて学ぶ

22年度 グループワークを通して当事者意識と課題解決力を高める

人材育成研修 開催日 月の後半

時間 一八〇〇～一九三〇

内容 グループワーク 三〇分

(課題の事例検討を中心)

講義 三〇分

3、目標面接(育成面接)による管理者及びスタッフの育成

現在 施設長実施の目標面接(育成面接)を部長・係長及び主任で行う

特養 介護長・主任

新型特養 副介護長・副主任

シヨート 係長・副主任

GH・和が家 係長・主任又は副主任

その他在宅 部長・各係長又は主任

事務所 部長・主任

22年度から評価する欄を大きくしフォームは改める

施設長は年間通して各人1回ずつ個別面接を実施(人間性の育成面接)

へやりがいのある職場をいかに作るか。ネットトヨタ南国の取り組みから)

終始一貫して語られたことは、まず、社員満足を目指したこと。

競争ではなく共創、教育ではなく共育との考え方で、社員のへやりがいを社員自身に考えさせ、体験させる手法は、同じサービス業である福祉の世界においても大いに参考になる取り組みであった。

横田社長の印象に残る言葉を紹介したい

①大切なことは、一番大切なことを一番大切にすること

②当り前のことを当たり前でない情熱で行うこと

Ⅲ意志決定システム・会議体の見直しについて

1、22年度 各会議運営について

①泉田氏研修会において指摘されたことであるが、各会議は基本現場職員の検討の場がのぞましい。そのためユニット会を核に運営することを提案。

ユニット会(事故対策・感染対策・褥そう・身体拘束・ケアプラン変更等)日誌に書かれてある検討事項のすべてをユニット会で検討・評価する。

1か月の間の実施状況の評価・改善をユニット単位で行う。(泉田氏講義資料参照)

②全体研修の流れとユニット会(他部署は部署会議・部署カンファレンス)

右記の①の理由により、ユニット会等、現場職員が検討し合う場を中心に流れを組む。管理者会議・研修、部署会議・全体研修・ユニット会・各種研修という順序をどう効果的に組み込むか検討してほしい。22年4月から運用：順番は2月末には決定する。

2、各会議体の名称と役割：役割に応じて開催順番を決定

①運営会議：月初め(一四：〇〇～一五：〇〇)

参加者 施設長・部長・課長・係長

内容 経営資源の評価・人材マネジメントの評価・事業所間の情報の確認

施設方針の周知及び事業所管理者の意見を求める場。

具体的検討の場としては、施設部会・在宅部会に役割を委譲し、ディスカッションの場部会に置く。(中身の濃い検討ができるようにする)

具体的には：

*目標の振り返り・分析・対策案の確認

*課題解決した内容と今後対応→ルール化の確認・承認

②施設・在宅部会・部署会議

部・部署の方針確認、情報・意識の共有化

具体的には：部署目標・課題の振り返り、検討。

問題の対応、課題解決

特養以外は利用者に関すること(事故・感染・褥

そう・身体拘束・ケア等)(特養はユニット会で実施)

③全体会議・研修：特養はその後ケア会議

方針・指針のアソカ園全職員への周知の場
課題に沿った研修の実施を通して、問題意識を共有して解決を図り、一体感を持った組織にする。

短期入所生活介護事業所アソカ園

【事業所の基本方針】

家庭的な雰囲気の中で、食事・入浴・排泄その他の日常生活の援助及び機能訓練を行うことにより、ご利用者の心身の機能維持に努めます。また、ご利用者が安心して施設を利用できるように、シヨートステイをユニット化し、居心地のいい環境づくりを目指します。

【平成22年度事業目標】

- ① 移転によるユニットケアの導入
- ② 介護力向上研修の実践による利用者の健康の増進
- ③ オペレーションシステムの導入による効果的なケア・運営
- ④ 総合記録シートの導入と活用による体調不良者の早期発見、入院の減少
- ⑤ アクティビティ・レクの充実
- ⑥ リスクマネジメントの充実

【事業目標に対する具体的取組】

- ① 円滑な導入に向けてユニットリーダー研修への参加、ユニットケア施設の見学、実習を通じてユニットでの1日の流れを理解し、新規移転後のユニットオペレーションシートを作成する。



- ② 自立支援介護に必要な基礎知識の習得と水分補給の徹底。主任、副主任が新人職員の現場教育を行えるようになるよう基礎介護技術のおさらい。根拠に基づく介護サービスが提供できるようケア会議、内部研修で職員教育を行う。
- ③ 全ての勤務のオペレーションシート作成、使用により無駄を省き業務の効率化を図る。
- ④ 利用者の変化をすばやく発見できるように総合記録シートの導入（生活健康表の見直し）。
- ⑤ 年間6件以上の個人のニーズに対応した個別の外出行事を実施する。
- ⑥ 居室内の事故を前年より減らすよう、個別対応を充実、徹底し、各ユニット会で事故対策を検討、評価する。

通所介護事業所 アソカ園

【事業所の基本方針】

- ・ご利用者がレクリエーションや機能訓練を通してよりよい在宅生活が営めるよう生きがいづくりを支援します。
- ・ご利用者、家族から信頼され選ばれる事業所を目指します。
- ・ご利用者から「楽しかった、来てよかった」と言ってもらえるサービスを提供していきます。

【平成22年度事業目標】

- ① 介護の方向性、判断の指針を明確化し、介護の質の向上を図る。
 - ② 各利用者の要望に添っていける介護を目指す。
 - ③ 在宅部門との連携強化。
- 【事業目標に対する具体的取組】**
- ① 信条を引き続き継続

- 一、ありがとうと言ってもらえる介護
- 一、居心地がいいと言ってもらえる介護
- 一、正直な介護

- ② アクティビティプログラムを充実し、ご利用者自らがメニュー選択し実行出来るように支援します。
- ③ 居宅介護支援事業所、ショートステイなど他のサービス機関との情報共有を進めていく。

訪問入浴介護事業所 アソカ園

【事業所の基本方針】

- 高齢者や寝たきりなどで介護の必要な方々の個別的なニーズに応えと共に、利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を継続して図るよう努める。

【平成22年度事業目標】

- ① 根拠に基づくサービス提供
- ② サービス内容及び提供方法の標準化
- ③ 楽しい入浴の提供
- ④ 在宅ターミナル期の方への入浴の提供

【事業目標に対する具体的取組】

- ① 定期的な介護計画の作成と計画に即したサービスの提供。
- ② 提供方法を利用者個々に標準化。
- ③ 年間行事を取り入れた入浴サービスの計画と実施。
- ④ 空き情報の発信（ケアマネ・ホームページ）と園だより等によるPR活動。



訪問介護事業所 アソカ園

【事業所の基本方針】

- ・利用者の生活スタイルに寄り添い傾聴を心がけ、価値観を受容し、より良い関係を築くように努めます。
- ・在宅生活上の問題点や、改善の必要性が生じた場合は、他の機関との連携を密にしながら、精神面や生活全般の援助を進めていけるよう努めます。
- ・地域での役割のある暮らしを、提言させて頂けるよう努めます。

【平成22年度事業目標】

- ① 根拠に基づくサービス提供を行う
- ② サービス内容及び提供方法の標準化
- ③ サービス提供内容の評価実施
- ④ 専門性と介護技術の向上
- ⑤ マニユアルの充実

【事業目標に対する具体的取組】

- ① 適宜アセスメントを見直し、月1回のモニタリング、ケースカンファレンスを通じて、課題・ニーズを明確にし、ケアプランの充実を図る。
- ② 訪問先ごとの手順書を変更のたび随時更新し、内容・方法の統一と標準化を図る。
- ③ 満足度調査の実施と分析を行い、ご利用者の声に伝える。
- ④ 重度の方の対応が出来るよう、介護技術研修により職員・身体介護中心ヘルパーの専門知識と技術向上を図る。
- ⑤ 体調不良による緊急時、事故防止、苦情対応、感染症対策についてマニユアルの充実を図る。

居宅介護支援事業所 アソカ園

【事業所の基本方針】

要介護状態になった被保険者に対し、介護保険法による福祉サービスおよびその他の社会資源を活用して、できるだけ自宅で自立した生活が営めるよう支援を行います。

【平成22年度事業目標】

- ① 専門的知識と技術の向上
- ② ケアマネジメント機能の強化
- ③ サービス評価と第三者評価
- ④ 業務の標準化
- ⑤ 地域への啓発活動
- ⑥ リスクマネジメント

【事業目標に対する具体的取組】

- ① 事業所内での勉強会と外部研修参加
- ② 訪問介護を位置づけているプランの見直し
- ③ チェックリストで自己評価
- ④ マニュアル作成、見直し
- ⑤ パンフ作成、川東地区の集会に参加
- ⑥ 緊急時マニュアルの見直し

ケアハウス 白寿

【事業所の基本方針】

「白寿」以上の歳まで元気で快適に過ごせるように生活上の支援を行います。

【平成22年度事業目標】

- ① 利用者の生活の安定

- ② 生きがいの支援

- ③ 衛生管理の徹底

- ④ 楽しめる食事の提供

- ⑤ 専門的知識と技術の向上

【事業目標に対する具体的取組】

- ① 定期的なカンファレンスを開催し、個別表を作成。各関係機関との連携の強化
- ② 運営懇談会の充実化
- ③ 感染症等の予防体制の整備と日々の消毒徹底と確認強化
- ④ 行事食や季節感が味わえる充実した食事の企画、提供
- ⑤ 事業所内での勉強会と外部研修参加

グループホーム 陽だまり

【事業所の基本方針】

認知症によって自立した生活が困難になった入居者に対して、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、食事・入浴・排泄などの日常生活のお世話をを行う。また、日常生活の中での世話及び機能訓練を行うことにより、安心と尊厳のある生活を提供する。入居者がその有する能力に応じて可能な限り自立して営むことが出来るよう支援する。

【平成22年度事業目標】

- ① 質の高い介護サービスの提供
- ② ホーム内外の環境整備
- ③ 地域と家族の力を生かしたホーム作り
- ④ アクティビティプログラムの充実
- ⑤ おいしく楽しめる食事の提供
- ⑥ やりがいと働きやすい職場環境作り

- ⑦ 専門知識と技術の向上

【事業目標に対する具体的取組】

- ① オペレーションシートの作成・更新・活用。定期的なカンファレンスの開催により、修正事項を速やかにケアプラン・オペレーションに反映させる。
- ② ホーム内外の環境整備責任者、ホーム内備品の管理責任者を決め、入居者の習慣、特徴に合わせた環境が提供できているか定期的に確認する。
- ③ 運営推進会議の企画・実施
- ④ 行事委員会を設置し、入居者が活動的に、生き生きとした生活を営むことが出来るように計画的に実施する。また、ご家族との交流、ほの花との連携体制を整える。
- ⑤ 入居者ご本人の意思・嗜好を尊重した献立作りと季節に合ったおやつ作りの提案・実施
- ⑥ 親睦会の企画・実施。マイプランに基づいた面接・自己評価の実施
- ⑦ 認知症勉強会の実施と介護技術研修の実施(ほの花との連携)

認知症対応型通所介護事業所 和が家

【事業所の基本方針】

ご利用者のできることに、したいことを事業所内に留まらず、積極的に地域へ出て行き楽しく落ち着いて過ごすことができる時間を増やしていきます。また本人と家族の絆を繋ぎ留めるため、認知症になっても可能な限



り自立した日常生活を営むことができ、それぞれの生活の質を維持していけるよう援助します。

【平成22年度事業目標】

① 認知症専門の通所事業所として認知症ケアの専門性(ケアの十分なスキルと洞察力)を深め、利用者の生活の質を高めます。

② 地域資源を活用しながら楽しみと役割のある暮らしを提供していく。

【事業目標に対する具体的取組】

① 各種勉強会への参加。内部、外部研修への参加。事業所会議にカンファレンスを組み込むことにより、参加しやすい環境を整え、ご利用者の理解を深めるとともに情報を共有できる仕組みを作る。

② ボランティアの受け入れ態勢を整える。アンケート等の実施によりご家族の現状の把握を行い、家族会の実施や、施設訪問日を設け、ご家族に和が家でのご利用者の様子を見ていただくなどの取り組みを行う。

島の家 えびすや

【事業所の基本方針】

大島在住の高齢者の方々を対象に、住み慣れた地域で顔馴染みの方々と共にQOLの維持・向上がはかれる介護予防プログラムを継続的に提供し、少しでも長く大島で生活し続けられるよう支援します。

【平成22年度事業目標】

① 個別のニーズに対応し、ご利用者満足度の向上を目指し内容を充実させる。

② 島内施設作りの具体化について地域支援を行う。

③ 情報提供して地域の人とコミュニケーションを図り、内

から外へ方向転換し、地域活性を図る。

④ 専門的知識と技術の向上

【事業目標に対する具体的取組】

① その人のニーズを知るために個別に話し合う時間をもつ。

② コンサートや募金活動等、えびすやとしてできる範囲の活動をする。

③ 地域の実情と課題を一緒に考える機会をもつ。

④ 事業所内での勉強会と外部研修参加

地域包括支援センター協力機関

【事業所の基本方針】

地域住民の心身の健康保持及び在宅での生活を安全・安心に暮らしていけるよう必要な援助をおこなうとともに、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

【平成22年度事業目標】

① 地域の高齢者が安全に安心して在宅での生活が継続できるように総合的に相談に応じる。

② 包括支援センターの協力機関として、行政と地域との円滑な連携を保ち、地域のネットワーク充実を図る。

③ 「住民主体のケア」を目指し、地域への啓発活動を積極的にを行う。

④ 生活・介護支援サポーターの活動支援、介護ボランティアの育成

【事業目標に対する具体的取組】

① 地域の高齢者が、安全に安心して在宅で生活が継続できるように総合的に相談に応じる。

実態把握調査を通じて地域の実情把握を行う。年間一八〇件以上 月15件以上

※平成22年度は高齢者夫婦世帯を重点的に訪問

② 包括支援センターの協力機関として、行政と地域との円滑な連携を保ち、地域のネットワーク充実を図る。

地域ケアネットワーク推進協議会開催

神郷校区：……年4回

多喜浜校区：……年3回

大島校区：……年3回

※地域の実情や課題などを協議し解決を図る

③ 「住民主体のケア」を目指し、地域への啓発活動を積極的にを行う。

・ 地域住民を対象とした勉強会の実施

・ 年3～6回(予定)各校区の実状に合わせて実施

・ 市政だよりに掲載し参加を呼びかける。

・ 高齢者の理解を深めてもらうため教育機関での介護教室の実施 年3回(予定)

④ 生活・介護支援サポーターの活動支援

サポーター活動への参加推進

勉強会と活動状況報告会の継続実施

介護ボランティアの育成

サポーター養成を継続して実施する。

※地域介護力の底上げ!

【業務遂行上の留意点】

① 関係機関との連絡調整においては、対象者の心身の状況、置かれている環境等を踏まえたうえで、公平中立におこなうものとする。

② 業務上知りえた個人情報等は、事務所の職員でなくなつた後も含めて守秘義務を遵守する。

③ 包括的な業務に関する知識の習得及び技能の向上を図る為、研修等に積極的に取り組み自己研鑽に努める。

平成22年度 アソカ園行事計画

	施設行事	食 事	防 災	研修・会議	そ の 他
四 月	お花見 家族会総会	お花見弁当	防災会議 防災管理協会総会		
五 月	端午の節句 子ども太鼓台見物	子どもの日メニュー			
六 月	めぐみ園児来園		初期消火訓練 防火訓練 消防設備の総点検		
七 月	七夕会 盆踊り大会 そうめん流し	七夕膳 土用の丑 そうめん流し			
八 月	そうめん流し	そうめん流し お盆	通報・連絡訓練 受水槽清掃		
九 月	敬老会 日帰り旅行	敬老会食 お月見食	秋の全国火災予防週間 (避難・通報・初期 消火等の総合訓練)		
十 月	子ども太鼓台見物 運動会	お祭り食 運動会弁当			
十 一 月	紅葉見学 ファッションショー	紅葉弁当	防火訓練		
十 二 月	クリスマス会・餅つき パコダ・高津 南沢津保育園児来園	クリスマスメニュー 冬至 大晦日			
一 月	初詣 福引き大会	七草粥 ぜんざい食(鏡開き) おせち(正月祝い膳)	防災会議		
二 月	節分豆まき 神郷・ パコダ園児来園	節分食			
三 月	ひな祭り会	ひな祭り祝い膳	春の全国火災予防週間 総合訓練		
月 間 行 事	誕生会 売店 ショッピング グルメクラブ ビデオクラブ(随時) おやつ作りクラブ しゃぼん玉クラブ 個別行事 夢クラブ 音楽療法	誕生日祝い膳 実演バイキング 松花堂	危険物の点検 (ガス、重油、タンク)	職員全体研修 管理者会議 施設部会・業務改善 ユニット会 チームケア (各プロジェクト委員会) ケアサービス向上 事故防止・身体拘束廃止 安全衛生 感染症・食中毒予防 環境整備 給食	